

演習シート

ケース

86歳で要介護度2のアルツハイマー型認知症のTさんは、屋内ではほぼ自立できませんが、食事、排泄、歩行、入浴、更衣、炊事、洗濯には一部介助が必要でした。

入所後2日後にTさんは、就寝中にベッドより転落し、唇、あご及び脇腹を打撲しました。氷で冷やし、湿布で対処するも、あごには内出血の腫れ、唇には出血がありました（1回目）。

その7日後の深夜、ドスンという音がしたため、職員がTさんの居室へ行くと、床に倒れていました（2回目）。意識レベルは正常でしたが、「動けない」「気分が悪い」などの訴えがあり、その後要介護3になりました。

その約2ヶ月後の深夜、ドンという音で職員がTさんの居室に駆けつけたところ、Tさんは床に倒れており（3回目）、骨折をしていました。